



平和首長会議ニュース

2019年8月 / 第116号

平和首長会議加盟都市数
163 か国・地域 **7,785** 自治体
日本国内加盟自治体数：1,732
(2019年8月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆広島市・長崎市において平和式典を挙行
- ◆世界各地でヒロシマ・ナガサキデー行事を実施
- ◆国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう！
- ◆第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の出席確認中です
- ◆平和首長会議事務局がグラノラズ市からインターンを受け入れました
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆広島市立大学からのお知らせ:大学院平和学研究科の進学説明会を開催
- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2019の作品を募集しています
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆平和首長会議会長訪問(7月1日~8月6日)
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,785 自治体

■広島市・長崎市において平和式典を挙行

[2019年8月6日、8月9日]

原爆投下から74年目を迎えたこの夏、広島市と長崎市において平和式典が行われました。

8月6日に広島市で行われた広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式には、国連等国際機関の代表や、89か国及び欧州連合(EU)代表部の大使等を始め約5万人が参列しました。平和首長会議からは、副会長都市でありカメルーンにおけるリーダー都市であるフォンゴ・トンゴ市と、理事都市でありタイにおけるリーダー都市であるバンコク都の代表が参列し、献花を行いました。

長崎市では8月9日に長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が行われ、66か国の大使等を始め約5,200人が参列しました。

それぞれの式典において発表された平和宣言の全文は、次のリンクからご覧いただけます。

▼広島市-平和宣言(広島市ウェブサイト):

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1110537278566/>

▼長崎平和宣言(長崎市ウェブサイト):

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/heiwa/3020000/3020300/p033237.html>

=====

■世界各地でヒロシマ・ナガサキデー行事を実施

=====

8月6日及び9日を中心に、世界中の加盟自治体や平和団体等において慰霊や平和祈念のための行事が実施されました。世界各地で原爆犠牲者を追悼し、平和を願う行事に取り組んで下さった関係者の皆様に感謝します。

ヒロシマデー・ナガサキデー関連行事を含め、平和首長会議行動計画に基づく取組を実施する海外の都市等に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧(海外)(8月13日現在)(平和首長会議ウェブサイト):
http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/04_list_of_activities/2019_List_of_Activities_jp.pdf

=====

■国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう!

=====

国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界中の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。今年の「国際平和デー」のテーマは「平和のために気候変動対策に取り組もう(仮訳)“Climate Action for Peace”」です。

平和首長会議も「国際平和デー」の理念に賛同し、これまで世界各地に記念行事開催の呼び掛けを行ってきました。本年は6月13日に配信した『平和首長会議ニュース(2019年6月)第114号』により全加盟自治体へ100日前メッセージを送付しています。

ついでには、各加盟自治体においても、こうした趣旨をご理解いただき、2019年の国際平和デー記念行事を開催して下さるようお願いいたします。

また、今年も引き続き、岐阜県高山市から加盟自治体に対し、同市が市内の寺社等の協力を得て実施する一斉鐘打の取組に賛同し、9月21日正午(各現地時間)に一斉鐘打を行っていただくよう依頼がありました。

各加盟自治体におかれましても、国際平和デーの記念行事の一環としてこの取組への賛同・実施を御検討いただければ幸いです。なお、実施していただける自治体におかれましては、9月6日(金)までにメールで高山市(担当部署:協働推進課)にお知らせいただきますようお願いいたします。



広島市で実施された2018年の「国際平和デー」記念行事の様子

▼高山市からの依頼文

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/20190819/Request_from_Takayama_City.pdf

▼高山市役所協働推進課 Eメール(担当:中島様):

kyoudou@city.takayama.lg.jp

=====

■第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の出席確認中です

=====

6月11日にEメールでご案内したとおり、第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会へのご出席及び同総会における自治体の取組事例報告の希望の有無を照会させていただいています。ご出席予定でまだご連絡いただけていない自治体の皆様におかれましては、Eメールに添付した「出席連絡票」により、至急ご回答いただきますようお願いいたします。

▶ 期日: 令和元年(2019年)10月24日(木)、25日(金)

▶ 場所: 24日:くにたち市民芸術小ホール(東京都国立市富士見台二丁目48-1)

25日: ホテル日航立川東京(東京都立川市錦町一丁目12-1)

詳細については、6月11日にEメールでお送りした案内をご確認ください。

▼国内加盟都市会議総会のこれまでの実施状況や出席者については、平和首長会議ウェブサイトでご確認いただけます。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/index.html>

=====
■平和首長会議事務局がグラノラズ市からインターンを受け入れました

[2019年7月9日～26日]

=====
平和首長会議では、2014年度から海外加盟都市の若手職員等を広島に招へいし、インターンシップを実施しています。7月9日～26日の間、平和首長会議の副会長都市であり、スペイン・カタルーニャ地域におけるリーダー都市でもあるグラノラズ市派遣のインターンとして、バルセロナ県庁職員のエウラリア・カリーヨさんを受け入れました。

カリーヨさんは平和首長会議事務局の業務に携わるとともに、平和記念資料館の見学や被爆体験講話の聴講等を通じて被爆の実相について理解を深めました。また、国際理解のための市民向けワークショップにおいて、バルセロナ県庁が行っている平和の取組等について発表しました。

インターンシップを終えたカリーヨさんは次のようにコメントしています。「平和首長会議の活動は、都市が力を合わせれば、平和を創り出せるという手本だと思います。平和記念資料館や追悼平和祈念館の見学を通して、また、被爆者や伝承者の皆さんとの対話、被爆体験記の朗読の聴講を通じて、数字や物理的な被害ばかりでなく、一人ひとりの市民に原爆がどれほどの苦しみをもたらしたかを知りました。今回強く感じた『1945年8月6日に起きたことを決して繰り返してはならない』という思いは、今後ずっと持ち続けていきたいと思っています。」

▼グラノラズ市からのインターンの活動について(平和首長会議フェイスブック):

https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/2175079562752765?_tn=-R

https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/2183389511921770?_tn=-R

https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/2185843595009695?_tn=-R

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第 58 回)

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====
米国が人類史上初めて原爆を戦争で使用して 74 年が経ちました。6 日、広島市は平和記念公園(中区)で原爆死没者慰霊式・平和祈念式(平和記念式典)を開催。松井一実市長は平和宣言で、世界情勢を踏まえて「核兵器廃絶への動きが停滞している」と指摘し、核兵器禁止条約に背を向ける日本政府に対し「被爆者の思い」として署名・批准を求めました。一方、安倍晋三首相は式典後の記者会見で、あらためて条約に参加しない姿勢を示しました。

令和最初となる式典には、台風 8 号の影響で 2014 年以來の雨に見舞われる中、約 5 万人が参列しました。海外代表は米国やロシアなど核兵器保有の 6 カ国を含む海外 89 カ国と欧州連合(EU)、都道府県の遺族代表は 36 人でした。

原爆投下時刻の午前 8 時 15 分には、遺族代表とこども代表が「平和の鐘」を突き、全員で黙とうをささげました。小学 6 年の 2 人が「平和への誓い」に立ち、「被爆者の魂の叫びを受け止め、次の世代や世界中の人たちに伝え続けたい」とヒロシマの継承を決意しました。

この一年に死亡が確認された広島の被爆者 5068 人の名前を記した原爆死没者名簿が原爆慰霊碑に納められ、117 冊、計 31 万 9186 人になりました。

厚生労働省によると、被爆者健康手帳を持つ被爆者は 3 月末時点で 14 万 5844 人となり、初めて 15 万人を下回りました。平均年齢は 82・65 歳になっています。被爆体験の継承と、被爆者の悲願である核兵器廃絶に向けた取り組みを急がなければなりません。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○核保有 認識の溝深く 平和記念式典 89 カ国・EU 参列 世界情勢が不安定化

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=92839>

○被爆者団体 思い複雑 広島平和宣言 評価と物足りなさも

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=92831>

○首相発言 前進なく 被爆者 7 団体と面会

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=92826>

○核禁条約巡り大使と討議 ICAN アカデミー 11 カ国の若者参加

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=92842>

○弟のシャツ 訴える 原爆資料館に常設展示 坂上さん 悲惨さ 後世に

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=92892>

○被爆ピアノ 船上の調べ 広島港 萩原麻未さん演奏

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=92886>

=====

■広島市立大学からのお知らせ:大学院平和学研究科の進学説明会を開催

=====

広島市立大学は、平和学をはじめ国際政治学、国際法学、国際関係論の関連する専門領域における分析手法を修得し、現実の諸問題を専門的かつ総合的に分析する能力を有するプロフェッショナルな人材を養成するため、2019年4月に平和学研究科を開設しました。

紛争予防と紛争解決に向けた有効な措置を考案できる研究者、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点からアイデアを発信できるジャーナリスト及びマスメディア専門家、平和創造と平和構築に向けた国際公共政策の立案及びその実務に携わる公務員を養成することにより、平和創造及び平和維持への貢献を目指すものです。

このたび、10月5日(土)に、平和学研究科教員によるセミナーとともに、進学説明会を開催しますので、貴自治体職員や周辺大学の学生に幅広く情報提供いただくようお願いします。

▼ヒロシマ平和セミナー2019・進学説明会

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/department/c00002162/c00006584/peacestudies/c00016214/>

意欲ある社会人の修学をバックアップするための社会人支援制度として、長期履修制度及び学費免除制度(申請による審査あり)を設けていますので、貴自治体職員に幅広く情報提供いただくようお願いします。平和学研究科のカリキュラム、入試情報等の詳細については、以下のリンクをご覧ください。

▼平和学研究科ウェブサイト

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/department/c00002162/c00006584/peacestudies/>

▼平和学研究科パンフレット

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/uploads/2017/11/2019-GSPS-20190701043259204.pdf>

=====

■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2019の作品を募集しています

=====

平和首長会議では、行動計画(2017年-2020年)に重点取組事項として掲げた「次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施」の一環として、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテスト2019を実施しています。

- 募集部門:
 - ①「6歳から10歳部門」 ②「11歳から15歳部門」
- 応募点数:
 - 1都市につき各部門5作品まで

▼絵画コンテストの詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご確認ください。

http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2019_Art_Competition.html

▼作品提出・問い合わせ先:

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

◎提出期限:

令和元年(2019年)9月30日(月)

=====

■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています

=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

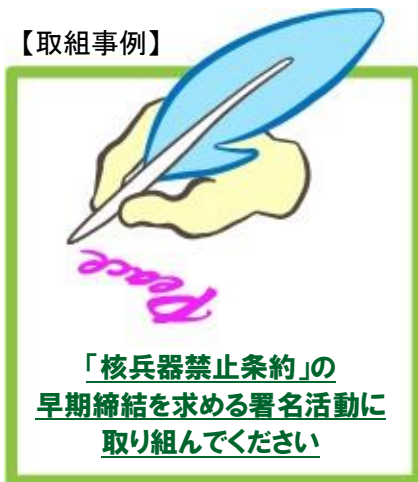
=====
■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

【取組事例】



=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>



=====
■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として「『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動」を展開しています。

平和首長会議に寄せられた「『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名」と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====
■平和首長会議会長訪問(7月1日～8月6日)
=====

毎年8月6日を中心に、広島市は多くの来訪者をお迎えしています。今年、松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、次のような海外からの来賓の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組や加盟要請への協力をお願いしました。

- * 7月12日(金) サイエド・ハスリン 国際連合マレーシア政府代表部常駐代表
- * 7月24日(水) ティジャーニ・ムハンマド＝バンデ 第74回国連総会議長
- * 8月5日(月) クリアンヨット・スッダラバー バンコク都副知事
- * 8月5日(月) イカイカ・アンダーソン ホノルル市議会議長
- * 8月5日(月) ラッシーナ・ゼルボ 包括的核実験禁止条約機関(CTBTO)準備委員会事務局長
- * 8月5日(月) 中満 泉 国際連合事務次長兼軍縮担当上級代表

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,785 自治体
=====

8月1日付で、13自治体が加盟し、加盟自治体数は7,785(163か国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

ドイツから、副会長都市であり同国におけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより、8自治体が加盟しました。

イタリアから、キエーティ市が加盟しました。同市の姉妹都市である長崎県南島原市の呼び掛けによるものです。

この他、フランス、ノルウェー、米国、アルゼンチンから計4自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いします。

▼8月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2019/newmembers1908_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/memberscity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp